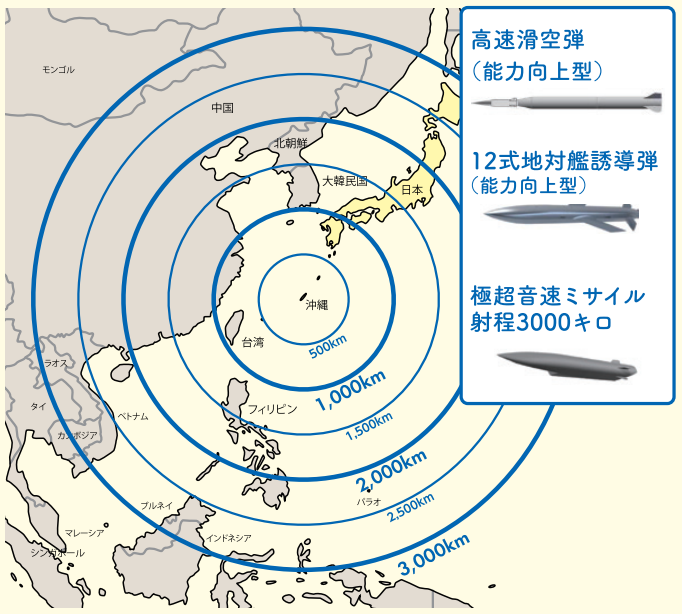
日本共産党県議の復活、統一地方選での日本共産党躍進で

愛知から大軍拡ストップを

愛知県は、敵基地攻撃能力の軍需生産の一大拠点

敵基地攻撃能力で配備予定のミサイルでアジア全域を射程に



日本が攻撃されていなくても武力行使

「安保３文書」では、日本が攻撃されていなくても、敵基地攻撃能力を使って、アメリカと一緒に相手国を武力攻撃できると明記。事実上の先制攻撃です。『自分の国は自分で守る』どころか、相手国の報復攻撃を招き、日本が焦土と化してしまいます。

実は11の軍需工場がある愛知県

軍需拠点が標的となる危険性

戦前から航空機産業を中心に軍事産業の拠点だった愛知は標的となり大空襲を受けました。軍事と表裏一体の航空宇宙産業が敵基地攻撃能力の一翼を担おうとしています。

大村県政が税金で支援した「愛知の技術」が軍事転用の危機！

至れり尽せり **三菱重工小牧南工場**

- 県が総額約100億円整備費
- 最大100億円の県補助金対象に
- 国有地を県が買い上げ県有地と合わせて整備し三菱重工に売却

県民の税金を投入した三菱スペースジェットが破綻

え？ **民間機技術が軍需転用？**

三菱重工の泉澤社長は、スペースジェットの開発で得た知見などについて、航空自衛隊の次期戦闘機開発などに役立てたいとしている。（2022年11月1日の決算会見）

今度は **三菱重工小牧北工場**

スタンドオフミサイル量産に

国の予算→約1兆円 ※防衛省「防衛力整備計画」より

日本共産党は、愛知のF35戦闘機整拠点＝兵站拠点化ストップの論陣

しもおく前県議は、2015年９月議会で三菱重工小牧南工場をF35整備拠点として海外の軍用機が飛来することを「地元の自治体に知らせず勝手に決めるのは大問題」として指摘。「若者を戦場へ駆り立てないため、国に対して整備拠点の撤回と戦争法の廃止を求めるべき」と迫りました。わしの前県議は2016年２月議会で名古屋空港を県営名古屋空港として残した意味を再確認し、愛知を「兵站拠点」にしないでと訴えました。

愛知民報
2023年3月号外　日本共産党の見解を紹介します。
（発行）日本共産党愛知県委員会　〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号　TEL052-261-3461